



KBF 関甲新学生野球 1部
2023 秋季リーグ戦

上武大学戦
1-8

7 安打

1 点

打線繋がらず



6 連敗

写真 4回表、常磐大学唯一の打点を刻んだ大崎(4年)

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計	H	E
常磐大	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	7	2
上武大	0	0	1	2	2	3	0	0	x	8	6	0

関甲新学生野球・秋季リーグ戦、第6節、常磐大学は上武大学と対戦し、1-8で敗北した。

【9/17 HARD OFF ECO スタジアム新潟】初回、常磐大学の攻撃は先頭打者の主将・小関貫太(現社3)がセンターフライに打ち取られるも、今季絶好調の2番大隈聖蓮(現社3)が内野安打で出塁する。しかし後続が三振、凡退で打ち取られ無失点に終わる。その裏、常磐大学の先発荒木嶺臣(現社3)の立ち上がりは、先頭打者に当たり前かのように死球を与え、出塁を許す。しかしその後は三者連続三振を奪い、良い立ち上がりを見せる。荒木は2回も先頭に四球を与え、出塁を許すも、フライと盗塁死、三振で無失点に抑える。3回裏、3安打を許し、先制されてしまう。

しかし、続く4回表、常磐大学の攻撃、1死から3番石原裕太(現社2)がレフト前安打で出塁すると、5番大塚偉歩己(現社3)のライト前安打でチャンスを広げ、6番、指名打者大崎翔(法行4)が適時打を放ち、同点に追いつく。だが、これを機に、上武大学に火がついた。4回裏、2点。5回裏、2点。6回裏、3点と一気に離されてしまう。7回裏、この日リーグ戦初登板となった川井康晟(現社1)が登板し、上武大学の4番、プロ注目の進藤勇也を三振にとるなど堂々たるピッチングを披露したが、試合は常磐大学が追加点を奪えず、試合終了。バッテリーは、荒木、伊藤駿介(現社3)、塚田晴斗(現社2)、川井、助川凱(現社2)-飯塚大翔(現社3)、長瀬祥太(8回、現社3)。(文・長瀬祥太)

星取表 (2023年10月2日現在)

	上武	山梨学院	白鷲	平成国際	松本	新潟医福	作新学院	新潟	関東学園	常磐	試合	勝	負	勝率
1 上武大		☆		☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	8	8		1.000
2 山梨学院大	★		☆		☆	☆	☆	☆	☆	☆	8	7	1	.875
3 白鷲大		★		☆		☆	☆	☆	☆	☆	8	7	1	.875
4 平成国際大	★		★		☆		☆	☆	☆	☆	8	6	2	.750
5 松本大	★	★	★	★		☆			★	☆	8	3	5	.375
5 新潟医福大	★	★	★	★	★			☆	☆	☆	8	3	5	.375
7 作新学院大	★	★	★	★	★			☆	☆	★	8	2	6	.250
7 新潟大	★	★	★	★	★	★	★		☆	☆	8	2	6	.250
9 関東学園大	★	★	★	★	☆	★	★	★			8	1	7	.125
9 常磐大	★	★	★	★	★	★	☆	★			8	1	7	.125

予告

手に汗握る
最終戦!!

対・関東学園大学戦

10/7 12:00(土)

関東学園大学野球場

勝てば1部残留!
負けると入替戦!